

ここが聞きたい ずばり村政を問う！

後藤 征昭議員



FMラジオ南阿蘇を開局しては
前向きに取り組む

Q
A

後藤議員

今回、私たちは大地震を経験した。震災直後から、地域の状況・避難所・道路・田畑・山林の状況等を久木野庁舎へ、あるいは農政

課、建設課へ報告をしてきた。道路が通れない、電気がつかない、水が出ない、食べ物がない等いろんな困りごとの相談が何日も続いた。防災無線で緊急情報が流れていたが、いつの間にか機能しなくなった。

大規模災害発生時に、

正確な情報が伝わらない現実には、防災無線の限界を感じた。そこで、安心・安全な情報発信の手段としてFMラジオ南阿蘇を開局する考えはないか。

企画観光課長

村の情報発信ツールは、防災行政無線とホームページがある。



FMラジオ局内のようす (小国町)

防災無線は、平成21年1月から稼働しているが地区防災に関する事項の放送に限られており、地区行事などは知らせることができない制限がある。

震災では、避難所情報、道路通行止め、生活、給水、支援物資等の情報発信を行った。

混乱の中情報が伝達できなかったかは不確定である。FMラジオ南阿蘇コミュニティ開局については、村民が興味をもつシステムを構築し、行政・観光・農業・福祉等の番組を作成し発信することは有効であると考えられる。

開局に伴う事業内容、事業費、運営体制、維持管理費、有効性、課題などを早急に確認し、防災無線の活用と合わせて検討する。

後藤議員

災害対応の開局ではなく、毎日必要な生活情報や行政の情報を公開することで、村がもっと元気になり、復旧・復興の希望にもなる。是非、電波を使っていた地域づくりに取り組んでいただきたい。



様々な受信機



FMラジオの送信アンテナ (小国町)

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で校正し掲載しています。詳細は会議録の閲覧が出来ます。